

インフォメーション

医療と介護。そして、その未来へ。

医療法人 清水会

- 鶴見緑地病院
- ミズノ胃腸科・内科・整形外科
- 介護老人保健施設 おひさま園
- 森小路清水会クリニック
- トム・ソーヤ 訪問看護ステーション
- 鶴見緑地病院橋波リハビリセンター

スタッフ
募集

社会福祉法人 清水福祉会

- 特別養護老人ホーム / 養護老人ホーム さくら苑
- さくら苑 デイサービスセンター太子橋
- ケアハウス鶴見緑地
- 特別養護老人ホーム 城東こすもす苑
- 特別養護老人ホーム 鶴見緑地苑
- サービス付き高齢者向け住宅 さくら
- 介護付き有料老人ホーム 鶴見緑地
- 小規模多機能ホーム さくら



清水会グループ 統括本部 採用係

〒535-0022 大阪市旭区新森3丁目1-12 ☎06-6952-5188
ホームページ <http://www.seisukai.net/> ホームページに求人詳細を掲載しています

編集後記

- ◆今回の特集は、「回復期リハビリテーション病棟」。患者さま・家族さまと面談を重ね、心に寄り添いながら、それぞれのゴールに向かって、リハビリチームとして取り組んでいる様子を紹介して頂きました。
- ◆「トム・ソーヤ訪問看護ステーション」医療依存度の高い利用者さまも安心の24時間体制スタート！ 各々、様々なニーズに応じて、新しい体制・取り組みを導入しました。
- ◆季節のキノコと鮭を使ったレシピを紹介。血行の改善効果がみられ、夏の疲れが残った身体におすすめです。
- ◆健診で問題点の指摘を受けた際は、軽く考えずに対処することで、三大生活習慣病の予防につながります。



Seisui

Contents

- 02-03 回復期リハビリテーション病棟の紹介(鶴見緑地病院)
- 04 24時間体制がスタート(トム・ソーヤ訪問看護ステーション)
- 04 新たな取り組みを開始(さくら苑デイサービスセンター)
- 05 開設より、3年6か月を迎えて(森小路清水会クリニック)
- 05 第4回「橋波リハビリミーティング」(鶴見緑地病院橋波リハビリセンター)
- 06 クローズアップ(トム・ソーヤ訪問看護ステーション)／気になる症状
- 07 パステルアートを開催(城東こすもす苑)／レシピ紹介

表紙写真/エフェソスのセルシウス図書館(トルコ)
撮影:山内康雄Dr.(鶴見緑地病院)

2016.09 Vol.17

鶴見緑地病院 安田徳光リハビリ部長に聞く

回復期リハビリテーション病棟とは

回復期リハビリテーション病棟では、充実したスタッフ（医師、理学療法士、作業療法士、言語聴覚士、看護師）によるリハビリを行います。入院できる対象疾患は決まっており、発症あるいは術後から2カ月以内（疾患によっては1カ月以内）の方を対象とし、2カ月～6カ月と入院期間も疾患別に決まっています。リハビリチーム※1では、毎月1回、患者さまの病態に合わせてリハビリ計画書を作成し、これに沿ったリハビリを実施します。1カ月に1回、ご本人やご家族との面談日を設けて、1カ月間の改善点と問題点を話し合います。また、定期的な評価とカンファレンスを行い、単にリハビリしている間だけ動けるような最大能力としての「できる生活動作」に留まらずに、病棟においても日常生活を営む上でも「しているADL（日常生活動作）※2」の獲得を目指して訓練を実施しています。

※1 医師、看護師、理学療法士、作業療法士、言語聴覚士、医療相談員（MSW）、管理栄養士

※2 日常生活動作（食事・行為・移動・排泄・整容・入浴など生活を営む上で不可欠な基本的行動を指します）

「自宅に帰る」というゴール目指して

Q：回復期リハビリテーション病棟をどのようにとらえておられるのでしょうか。

A：まず、回復期リハビリテーションとは、急性期の治療を終えた疾病や外傷の後遺症を持つ人に対して、機能訓練を施し、医学的・心理学的な指導を行う事により、機能回復に導き、再び社会復帰をはかっていく病棟だと考えています。そのために、一人一人の患者さまの心に寄り添い、集中的にリハビリすることにより一つでもできることを増やしてもう一度、生きる勇気や希望を持ってもらえるようにする。できるようになった事

理念

- 1.私達は 医療、介護、福祉を通じ地域に貢献する。
- 2.私達は 多くの方々に愛される施設をめざす。
- 3.私達は 調和のとれた、豊かな人間性の育成につとめ、誇りと責任を持ち、日々研鑽を重ねる。



YASUDA TOKUMITSU
安田 徳光

と一緒に喜びあえる。歩いて自宅に帰るというゴールと一緒に目指していく。そんな回復期リハビリテーション病棟を作りたいと思ってこの10年間、頑張ってきました。

心のこもった優しい言葉のキャッチボールを

Q：リハビリのスタッフに求められるものとしては、どのような事をお考えでしょうか。

A：『今は忙しいから、もう少し待ってね』と言われた時、10分間待たなければならなかった患者さまが、看護師さんに怒られたと思われる時と、同じ10分待たされたにも関わらず看護師さんは本当に優しいと思われる時があります。どこが違うのでしょうか？《この忙しい時に迷惑だ》という思いが伝わってしまうのと、《本当に待たせてごめんなさいね》という思いが伝わるのでは、患者さまの受け取り方が180度違ってくるのは当たり前の事です。きつい言葉を投げかけられた人は、きつい言葉で返事をする。逆に優しい言葉を投げかけられた人は、優しい言葉で返事をする。これは病院スタッフと患者さまだけでなく、ご家族と患者さまでも言えることです。心のこもった言葉でキャッチボールできればこんなに素晴らしいことはないと思っています。

充実したリハビリチームが連携して、患者さまの心に寄り添い、機能回復・社会復帰を目指していきます。

診療報酬改定後もリハビリ時間を減らすことなく提供

Q：平成28年度の診療報酬改定において、回復期リハビリテーション病棟にアウトカム評価（効果に係る実績）が取り入れられる事になりましたね。

A：回復期リハビリテーション病棟においては、1日に提供できるリハビリは、原則として1日6単位（1単位20分）までとなりました。但し、「一定水準のリハビリ効果（27点以上）※3+1日平均6単位以上のリハビリ提供」の2つをクリアした病院のみが1日9単位まで提供できます。幸い、当院はどちらもクリアしており、今後も皆様にリハビリの時間を減らすことなく、リハビリテーションを提供していきたいと思っています。

※3 当院の実績指数= $\frac{(\text{退棟時のFIM運動項目の得点}-\text{入棟時のFIM運動項目の得点})}{(\text{各患者の入棟から退棟までの日数}-\text{患者の入棟時の状態に応じた算定上限日数})}$ >27

実際の“生活場面”で生かしてもらう

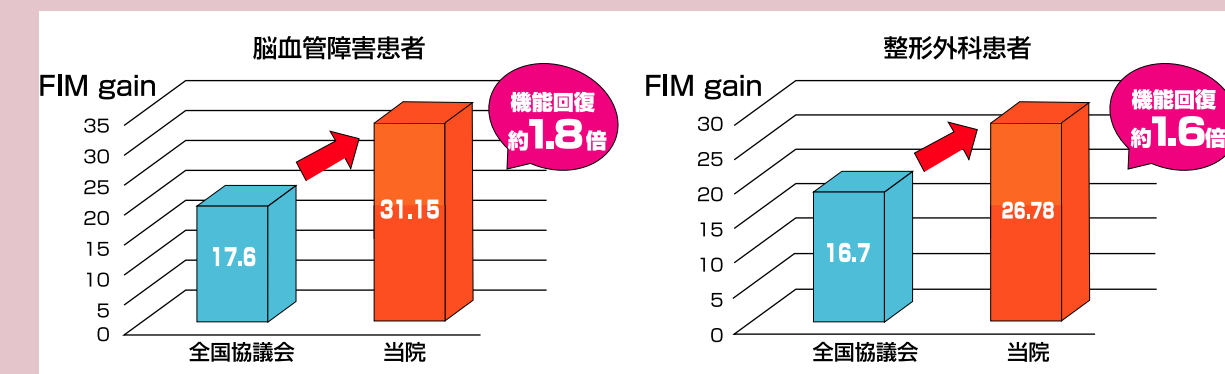
Q：リハビリテーションの効果を上げるためのポイントは何でしょうか。

A：リハビリの効果を上げるうえで大事なことは3つあります。

- (D)ご本人の治って歩いて帰るぞという強い気持ち。
 - (E)訓練されたリハビリチーム。(医師、セラピスト、看護師、看護助手、ソーシャルワーカー)
 - (F)ご家族の協力です。介護が必要となったとしても生きてほしいという思い。どの一つが欠けても良くなりません。リハビリの時間内でその人ができる最大能力を引き上げるのがセラピスト。でも、それだけでは実際の生活場面では応用できません。その最大能力を看護師、看護助手が、セラピストと情報交換しながら日常生活の中で実際に使用してみる場面を作り出します。たとえば、リハビリの時間の中で下衣の上げ下げをできるようになられた患者さまに対して、実際のトイレ場面で看護師が介助の時間を短縮したいが為に下衣の上げ下げを手伝っているようでは、何をしているのかわかりません。たとえ時間がかかったとしても看護師の見守りの中で、患者さまに下衣の上げ下げや車イスへの乗り移りを一度でも多く経験していただく。リハビリの時間だけでなく、日常生活の時間すべてをリハビリととらえる。それが本当の回復期リハビリテーション病棟だと考えています。
- 私たちと一緒に歩んでいきませんか。

リハビリテーションの治療実績

（2015年全国回復期リハビリテーション病棟連絡協議会の調査結果との比較）



※FIM（病院の治療で使う日常生活の評価方法で、18項目の基本動作を自分で行える（7点）～全介助（1点）の7段階で数値化することによりリハビリ治療の効果判定に使用します。最高126点満点～最低18点。）

※FIM gain（入院時のFIM点数と退院時のFIM点数の差、つまり患者さまの入院から退院するまでに改善したFIMの点数のことで、リハビリテーション治療による回復度を表しています。）

トム・ソーヤ訪問看護ステーション

いつでも対応、安心の24時間体制がスタート！

◆平成28年6月1日より、24時間体制となりました。

トム・ソーヤ訪問看護ステーションでは、平日の日中以外にも、勤務終了後の17時以降の夜間帯や日曜・祝日の終日を通しての急病(発熱・転倒・腹痛・排便困難・バルン留置中の異変など)にお困りの時、当事業所に従事している看護師が携帯電話にて常時対応させていただきます。まず、お電話で容態を確認させて頂き、その後、実際に訪問させて頂くというシステムです。些細な事でもお問い合わせ頂いて大丈夫です。看護師が専門的な知識を持ってアドバイスさせていただきます。

◆理学療法士による専門的なリハビリが自宅でも受けられます。

トム・ソーヤ訪問看護ステーションには、理学療法士が在籍しています。病院や施設に通ってリハビリテーションを受ける事が困難な利用者さまにご自宅へ理学療法士が訪問し、その方に合ったリハビリテーションを提案し、実践していき、住み慣れたご自宅において自立した日常生活を送れるように援助していきます。

◆電子カルテを導入しています。

トム・ソーヤ訪問看護ステーションでは、利用者さま及びそのご家族さまが、安心して在宅生活を送って頂けるようサポートします。看護が必要な利用者さまには、昼夜問わず看護師が対応し、必要に応じて主治医からの指示を受けて看護を実施させていただきます。

利用者さま情報や看護記録などはタブレットという、電子カルテを用いて日々の訪問時の記録や全利用者さまの情報を共有していますので、急な訪問やお問い合わせにも迅速に対応させていただきます。



タブレット《電子カルテ》

さくら苑デイサービスセンター

認知症、寝たきり予防のために、新たな取り組みを実行

「今日はお腹減ってるからご飯大盛りで!!」「大盛り一丁お待たせしました!!」そんな元気な声が響きます。さくら苑デイサービスセンターでは、平成28年4月より、「認知症を予防しよう!!・寝たきりを予防しよう!!」をテーマに新たな取り組みを始めました。

●一つ目は『お食事バイキング』です。

楽しく、賑やかに食事をして頂く為に自ら取りに行き、職員と会話しながら選んで頂けるスタイルを取り入れました。利用者さまは、量や好きな食べ物など伺いながら楽しまれて居る為か、召し上がられる量も増え、和気藹々とお食事されています。

●二つ目は『色々なことを選択』です。

決められた順序で過ごして頂くのではなく、過ごし方を選択して頂くようになりました。例えば入浴の時間など、気分によっては朝に入りたい時も昼から入りたい時もあると思います。自ら過ごし方を決めることでデイサービスでの生活にメリハリを持って頂くようにしました。体操をしたり、脳トレをしたりゲームをしたり、様々な趣向を凝らして皆様をお待ちしております。

高齢化が急速に進んでおり、利用者さまも様々なニーズをお持ちになっております。当センターは、これからも通うことで生き甲斐を感じて頂けるようなデイサービスでありたいと、スタッフ一同考え運営を行ってまいります。



森小路 清水会クリニック

様々なニーズに対応する人工透析クリニック

平成25年に人工透析・森小路清水会クリニックを開設し、3年6カ月を迎えました。

地域の方々、連携医療機関の皆様にご支援いただき、今夏8月より、月曜日、水曜日、金曜日の午後透析を開始させて頂く運びとなりました。

近隣からの通院透析だけでなく、同法人の鶴見緑地病院に入院して回復期リハビリを受けながらの透析、法人施設へ入居されての通院透析と様々なニーズに対応する透析クリニックとして各地域からもご利用を頂いております。



朝はゆっくり過ごしたい、朝に活動的に過ごしたいという方には午後透析を喜んで頂けると思います。シャントトラブルや緊急時の対応も大阪府内の基幹病院との連携も密にしており、ご安心頂けます。送迎車5台中、4台が車椅子対応と、「安心・安全」をモットーに送迎をさせて頂いております。クリニック内を見学してみたいという方はお気軽にお問い合わせください。また、月に2度、第2・第4火曜日の午後、おひさま園のケアマネジャーにて地域の方を対象に健康維持を目的とした、少しの負荷をかけた体操を楽しみ雰囲気の中で開催しています。現在、ご好評につき「いきいき百歳体操」の定員は一杯になっております。

すぐのご参加は難しいですが、ご希望の方はおひさま園までお問い合わせくださいませ。

森小路 清水会クリニック

お問い合わせ ☎06-6958-7070

●いきいき百歳体操

お問い合わせ先:

おひさま園 ☞☎06-6952-0101

鶴見緑地病院 橋波リハビリセンター

第4回「橋波リハビリミーティング」

高次脳機能障害について 太田吉彦理学療法士が講義

好評のうちに、第4回を迎えた「橋波リハビリミーティング」が7月15日(金)午後6時から開催されました。

第1回から、地域のケアマネジャーとの意見交換、交流会の場として進められてきましたが、今回は「脳血管疾患の維持期リハビリについて～高次脳機能障害～」との内容で講義が行われました。

参加者は、地域のケアマネジャーと当リハビリセンターの職員の希望者で、脳の障害によって起こされるさまざまな神経心理学的障害と、その種類、維持期リハビリについて学習しました。

高次脳機能障害は、運動マヒや失調と異なり、表からはわかりにくい障害で、家族などの周囲の人の理解が必要なこと、長い経過を経て変化していくものが多いため、根気が必要なこと、時には代償手段を用いなければならないことなど、真剣にメモを取りながら受講しておられました。



クローズアップ close up!

トム・ソーヤ訪問看護ステーション

訪問看護とは、ご自宅で療養されている利用者さまに訪問看護ステーションから看護師等が生活の場に訪問し、自立への援助を促し、療養生活を援助するサービスです。

トム・ソーヤ訪問看護ステーションには、看護師7名、理学療法士1名、事務員1名の総勢9名体制にて、ご自宅で療養されている利用者さまの看護に携わらせて頂いております。

看護の内容は、血圧・体温・脈拍・酸素飽和度測定など一般状態の観察や体重測定、栄養指導、血糖測定、インスリン投与、点滴施行、排便処置、ストーマ処置、排尿誘導、褥瘡や創処置、ベッドや手すりなど生活上の相談やアドバイス、ご家族の介護負担軽減を目的とした話し合いなど多岐にわたるサービスを提供させて頂いております。

また、理学療法士による専門的なリハビリテーションを提供しています。

看護師と理学療法士が連携して一人の利用者さまにサービスを提供させて頂くこともあります。

日常生活の中でお困りのことやご相談等がありましたら、些細な事でも構いません。ぜひ、当事業所へお問い合わせください。

(お問い合わせ先) ☎06-6956-0505 (市川)
FAX 06-6956-0808



城東こすもす苑 パステルアート講習会を開催

今年のテーマは『動物』



城東こすもす苑では毎月第一木曜日、パステルアートを開催
6月2日(木)午後よりこすもす苑6Fにてプロの講師2名を招き入れ、入居者さま9名の参加者が集まり「パステルアート」が行われました。
これは粉状にしたパステルを使って指で擦り、画用紙に自由に楽しく描いていくものです。
手軽に材料を揃えることができ、初心者や手の不自由な人でも簡単に扱うことができ、高齢者施設でも今注目を集めています。
色彩のちからを活用することによって、非常にやさしい気持ちになり、心理面にも非常にいい効果を生み出します。
今回は動物の「フクロウ」をテーマに描かれました。
当苑では手先の器用な人とそうでない人用と2種類に分けて準備をしており、ワイワイガヤガヤと楽しみながら時間を過ごすことができ、大変好評です。

気になる症状【Q&A相談コーナー】

Q どんな頭痛に「危険な可能性」があるでしょうか。

A 頭痛はよくある症状で、経験された方も多いと思います。
多くの頭痛は命にかかわらないものですが、くも膜下出血、脳出血や脳腫瘍などの脳の病気に伴う頭痛は、放置しておけず「危険な頭痛」と言えます。それではどんな頭痛の場合に「危険な頭痛」の可能性があるのでしょうか。

- 突然の頭痛(ただし、ピリッとする瞬間的で電撃的な痛みは神経痛で嫌なものです心配はいりません)
- 今までに経験したことのない、普段と明らかに違う頭痛
- 痛みが強烈な頭痛(くも膜下出血では「バットで殴られた様な」と表現されることがあります)
- 日に日に強くなる頭痛
- 朝方にいつも起こる頭痛
- 50歳以後の初発の頭痛
- 発熱、嘔吐があり、まぶしさを過剰に感じる頭痛
- 意識障害を伴う頭痛
- 頭痛に加えてめまい、嘔吐がある場合
- 頭痛があり手足の動きが悪い、ろれつが回らない、言葉がしゃべりにくい、物が二重に見える、痙攣が起こった などというような場合

「危険な頭痛」を疑わせる場合を列挙しました。以上の様な頭痛の時には放置せず、すぐに医師に診てもらうようにしましょう。



鶴見緑地病院
山内 康雄 医師
YAMANOUCHI YASUO



レシピ紹介コーナー 栄養課



管理栄養士 巽 修子
TATUMI NAOKO

鮭ときのこのバターしょうゆ焼き

今回は秋の味覚であるキノコと、旬の鮭を使ったレシピをご紹介します。鮭ときのこには、冷え症に効果のあるビタミン『ナイアシン』が豊富に含まれています。
きのこ類の中でもエリンギ、しめじには、非常に多くのナイアシンが含まれているので効率よくナイアシンを摂取できます。
ナイアシンには、毛細血管を拡張する作用があり、血行が良くなることで、冷え症、肩こり、頭痛を改善する働きがあります。夏の間に、クーラーの使用や冷たい物を食べることで知らず知らずのうちに冷えてしまった身体を、血液の循環を良くしてくれる料理を食べることで温め、これからやってくる寒い時期に備えましょう。

recipe

【材 料】(2人分)

鮭.....2切れ
エリンギ.....2本(約60g)
しめじ.....60g
ブラックペッパー.....少々
青ネギ.....少々
サラダ油.....少々
バター.....15g
酒.....大さじ1
醤油.....大さじ1
みりん.....大さじ1
砂糖.....大さじ1

【作り方】

(1)鮭を、1切れ4～5等分に切る。エリンギは、食べやすいようしめじと同じ大きさにカットする。
(2)フライパンに、サラダ油を入れ、鮭を焼く。
(3)両面鮭が焼けたら、エリンギ、しめじ、を入れる。
(4)しんなりして来たら、バターを入れバターが溶けたら、酒、しょうゆ、みりん、砂糖の調味料を入れ炒める。
(5)ブラックペッパー、青ネギをトッピングし完成。